

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 豊橋市立中野小学校 (※正式名称を記載)
種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注 1}
☐ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注 2} ☐ 高等学校
☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校
☐ 特別支援学校
☐ その他 (例: 小中高一貫)
所在地 〒 441-8063
愛知県豊橋市橋良町字向山 6 番地の 4
E-mail nakano-e@toyohashi.ed.jp
Website http://www.nakano-e.toyohashi.ed.jp/nakano-e/index1.html
幼児児童生徒数 男子 202 名 女子 208 名 合計 410 名
幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 12 歳
※注 1 義務教育学校を含む ※注 2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 30 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 ※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「なかよく かしく のびゆく子」を学校理念として、ESD を持続可能な社会づくりの担い手を育む教育と捉え、ESD の実践を通して自他と対話し、学びを生かす力の育成を目標とした。

具体的には、福祉、国際理解、食育を柱に、①福祉に係わる活動、②国際理解に係わる活動、③食育に係わる学習を行った。

①福祉に係わる活動 (5 年生)

子どもたちは、障がい者や高齢者などさまざまな立場の人の生活について体験したり、聞き取りをしたりすることで、その困難さやそれを解消するための工夫を知った。そのなかで校区にある高齢者福祉施設「作楽荘」を訪れ、入居者や施設の方の話から、入居者に喜んでもらうことをしたいという思いをもった。そして、入居者の方に喜んでもらう具体的な方法として、学級の児童から学習発表会を見せたいという案があがったが、その方法と内容について、個々の考えにずれがあった。そこで、かかわり合いの場を設け、どのように交流を行うことが、お互いにとってよいかを話し合った。

A 児は、ひとり調べでは、学習発表会に招待することとビデオで見せること

がよいと考えていたが、友達の考えを聞いて、学習発表会に招待することと作楽荘に行き学習発表会で合唱する歌を歌ったり、別の内容を行ったりすることを組み合わせるとよいと自分の考えを見直すことができた。そして、作楽荘との交流を「ハッピースマイルプロジェクト」と名づけ、お互いが楽しめるような交流の計画をすすめることにした。その際、4人グループを形成し、グループごとに企画を考えた。A児のグループは、入居者の方と一緒に昔の歌を歌うことにした。実際に作楽荘で行った交流会で、A児は、企画を精一杯披露するだけでなく、入居者の方にもすすんでかかわることができた。

② 国際理解に係わる活動（6年生）

本校では毎年、PTA主催の「国際交流会」を行っている。子どもたちは、「外国人と日本人が仲よくできる会にしたい」という思いをもち、計画をたてた。しかし、実際に交流会を行ってみると、「国際交流会」とはいえ、参加者は日本人ばかりだった。また、交流会の中に地域に住む外国人への質問コーナーを設けたところ、生活習慣の違いや言葉のギャップがあり、とても困っていたことも知った。子どもたちの思いを大切に、地域に在住している2人の外国人をゲストティーチャーに迎えて、外国の文化や日本に来て困ったことなどを聞く場を設定した。すると、言葉の壁のほかにも、ごみの出し方やバスや電車の乗り方がわからなかったなど、困っていたことが、たくさんあることに気づいた。そして、外国人と日本人の保護者にアンケートを取った。夏休みには、個人の課題追究の時間を十分に確保し、自主的に調べ学習に取り組むようにした。すると、市役所の多文化共生国際課へ行き、職員にインタビューをし、自分の追究課題を解決する子も出た。夏休み後には、一人一人が追究してきた課題を発表する場を設けた。すると、「ペルー料理やフィリピンのおやつを作りたい」という声が上がった。そして、ゲストティーチャーに作り方を教えていただきながら会食を共にした。「外国人というだけで距離があったけど、一緒に料理を作ったり食べたりすることで、外国人と日本人が仲よくなれる校区に近づいている。こんなにおいしい料理を食べることができて、中野校区に住んでいてよかった」とふり返り、自分の校区のよさを見つめ直すことができた。また、地域のゲストティーチャーとの出会いは、子どもたちにとって、外国人や日本人の思いを知り、共生の意識が高まり、主体的・対話的な学びを促す手段となった。

③ 食育に係わる学習（3年生）

中野小学校のすぐ近くに豊橋市南部共同調理場がある。そのため、中野小学校には、1名の栄養教諭が勤務している。もちろん子どもたちは、そこで作られた学校給食を毎日食べている。栄養教諭や調理場の調理員から話を聞ける環境を生かした「給食のひみつ」（食育に関する学習）を総合的な学習で行っている。

栄養教諭の食育の学習を導入として、学校給食に関して調べ学習を進めていく。子どもたちは、すぐに調理場に興味をもち、見学に行きたがる。そこで、栄養教諭が待っている調理場に行き、給食の作り方を栄養教諭や調理員の方々から話を聞く。食材の選び方、調理方法や衛生面で注意することを聞き取っていく。調理場で学んできたをプリントにまとめた。続いて、子ども

達が興味をもった給食の歴史や地域による学校給食の違いをインターネットなどを使い、それぞれの子どもが調べ、プリントにまとめる学習を行っている。



①福祉体験（車いす体験）



②国際交流会での6年生コーナー



③調理場調理員のお話

（２）活動の詳細

①活動の内容

ア．活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ．活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他（自由記述）	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

共に生きる 高齢者福祉施設のパンフレット
愛知県・豊橋市のホームページ
昔の給食、祭りや古い道具の道具調べのホームページ

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

1年生の生活科で、地域の老人会の方々から伝統遊びを学ぶ「地域の伝統文化」、3年生の総合的な学習で、給食の調理場に近ことから「食育」、5年生の総合的な学習で、交流している聾学校や高齢者福祉施設と協力して「健康・福祉」、6年生の総合的な学習で、外国人が多く居住している校区の特色を生かした「国際理解」、クラブ活動で、「地域の伝統文化」の継承として「和太鼓」の学習を教育課程に位置づけている。年度末に一年の授業をふり返し、各学年で教育課程を立てるとともに、年度初めの学年部会で該当学年の計画を練り直す。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

低学年部（1・2年）、中学年部（3・4年）、高学年部（5・6年）、特支・国際部（特別支援・国際担当）で、各学年で立てた教育課程や単元構想を検討する。検討したものを教務主任や研究主任などとも検討を行い、よりよい教育課程や単元構想に直していく。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部

/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項 1-5 に対応

子どもたちは、「お話タイム」の回数を増やしたことで、授業での話し合いが深まるようになった。多くの児童に、ユネスコスクールの活動内容に沿い、答えに行き着くまでの考え方をきちんと発言させる授業を進めた。その結果、積極的に授業に取り組み、息の長い発言が目立ち、成長した。総合・生活・社会などでは、単元を通した問題解決的な学習を展開することができた。教科の特質を生かした授業のスタイルがかなり固まり、授業のふり返りも定着してきた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項 2-2 に対応

6年生児童が作成した国際交流会の開催案内を校区内の回覧板に回した。また、11月の学習発表会では、学習してきた内容を劇にまとめ、保護者や地区の方々に発表した。5年生は、学習してきた内容を壁新聞に一人一人がまとめるとともに、11月の学習発表会の場で、劇にまとめ、保護者、地区の方々、高齢者福祉施設の招待したお年寄りの方々に発表した。劇にしたことで、自分たちの学習してきたことの意味や意義が具体的に再認識できた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)

(200字程度)

※チェック事項 2-3 に対応

5年生は、豊橋聾学校、高齢者福祉施設「作楽荘」やそれに携わるボランティア、豊橋市福祉協会などに協力を求めた。
6年生は、PTAのお母さん、外国人の保護者の方々、質問をしに行った市役所の職員と校区市議員などに協力を求めた。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項 2-4 に対応

国内外のユネスコスクールとの交流をはかることは、できませんでした。子どもたちが、学んだことの価値を確かめるためにも交流できるユネスコスクールを探して行きたいと思います。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）

※チェック事項 2-5 に対応

5・6年生が行ったユネスコスクールの活動によって、多くの地域の方々に協力していただき、子どもたちと交流をもつことができた。教師以外の方にいろいろな考え方を教えてもらえ、多様な価値観に触れることができた。また、学習発表会において、学んできたことを地域・保護者に発表したことで多くのお褒めの言葉やよい評価をたくさんいただき、学校の教授法やカリキュラムに賛同をもらえたことがよかった。

- （3）平成30年度の活動計画（200～400字程度）

平成28・29年度と5・6年生のユネスコスクールの年間の活動計画を学校全体で考え、作り上げてきた。平成30年度には、3・4年生の年間の活動計画を新たに立てていきたい。

学校全体としては、長年続くいている豊橋聾学校との交流、環境委員会によるリサイクル（牛乳パック、アルミ缶、ペットボトルキャップ）、親子ものづくり体験を継続していきたい。

高学年…伝統文化の継承活動として地域の方に教えてもらいながら和太鼓クラブ・お茶お花クラブ活動を継続していきたい。

1年生…「お年寄りに昔の遊びを教えてもらおう」「保育園児と一緒に遊ぼう」

3年生…「中野校区探検隊」「給食のひみつ」「地域のお祭り調べ」

4年生…キャリア教育に関わる「働く人を調べよう」「夢に向かって」を計画しているが、学校全体で検討し、更なる充実を目ざしていきたい。